



平成 27 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐光 正義  
コード番号 3880 東証第一部  
問 合 せ 先 経理部長 矢野 雅史  
(TEL. 03-6856-7513)

## 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成27年5月12日に公表いたしました平成28年3月期第2四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する (四半期)純利益	1株当たり (四半期) 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	225,000	8,000	6,500	2,500	17.15
実績値 (B)	229,986	10,031	8,842	4,203	28.84
増減額 (B - A)	4,986	2,031	2,342	1,703	
増減率 (%)	2.2	25.4	36.0	68.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	214,183	10,629	8,164	5,037	36.81

従来は百万円未満切捨てにより記載していましたが、当連結会計年度より百万円未満を四捨五入して記載しています。前第2四半期実績についても四捨五入に組替えて表示しています。

### 2. 差異の理由

売上高は、板紙・段ボール事業において連結子会社であるいわき大王製紙における中芯マシンが順調に稼動したこと、洋紙事業の高付加価値商品への販売シフト等の構造転換が順調に進んだこと、ホーム&パーソナルケア事業において大人用とベビー用の紙おむつの販売が国内外において堅調だったことから増収となりました。

営業利益は、円安進行に伴うチップ等の原燃料価格上昇、及び古紙価格の高騰による減益要因があったものの当社及び子会社でのコストダウンを推進したことで増益となりました。

経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、営業利益の増加に加え有利子負債の削減による支払利息等が減少したこと等により営業外収支が改善したことで増益となりました。

なお、平成 28 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、国内の紙の需給バランス、中国経済の動向や為替相場等のリスク要因を踏まえ、前回発表値から変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

以 上